

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

生徒指導論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 問題末尾の資料を読み、次の間に答えなさい。

問 記事を読んで、高校生が政治的リテラシー（教養）を身につける教育の中心的な課題と素材、そして方法について、具体的な学校の状況との関係に触れつつ、記述しなさい。

問題 2 次の語句のなかからひとつを選んで簡潔に説明しなさい。選択した語句の番号を明記のこと。

1. デュアルシステム（ドイツのものについて）
2. 闘技的民主主義
3. 「子ども集団づくり」実践（全生研）

問題 3 道徳教育実践において、道徳的コミュニケーションの「シンメトリック（対称性、双務的）」な性格に配慮することが重要であるという考え方がある。例えば、生徒に求めることは、まず教員が率先して行わなければならない。そうでなければ、道徳的ではない、という考え方である。この考え方が教育実践に与える影響について、利点と問題点について具体的に指摘しなさい。

(18歳の主権者：下) 中立性は？指導手探し 「考える材料  
提供する」 /北海道

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

社会教育学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 次の文章 (ユネスコ「学習権宣言」) を読み、下線部の諸権利が「基本的権利の一つ」としてとらえられる理由について、あなたの見解を述べなさい。

(出典：堀尾輝久・河内徳子編『平和・人権・環境 教育国際資料集』青木書店、1998 年、pp. 255-256)

問題2 家庭教育の現代的課題について述べなさい。

問題3 次の語句から2つを選び簡潔に説明しなさい。選択した番号を明記すること。

1. ケイパビリティ
2. 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律  
(生涯学習振興整備法)
3. 社会的企業
4. 社会的排除

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

高等継続教育

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 次の文章(ユネスコ「学習権宣言」)を読み、下線部の諸権利が「基本的権利の一つ」としてとらえられる理由について、あなたの見解を述べなさい。

問題2 日本では、1990年代末頃から、「大学生の学力」に関する社会的関心が高まり、「学力低下」「学力問題」などの語を用いて議論されるようになった。このことに関して、次の問1、問2に答えなさい。

問1. 背景となった事情を説明しなさい。

問2. 「大学生の学力問題」に関する論点を整理しなさい。

問題3 次の語句のなかから二つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を明記すること。

1. 教職協働
2. テニユア制度
3. 国民教育と大学
4. 大学におけるピア・サポート

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育福祉論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 大学進学率の上昇が格差社会に与える影響について考察しなさい。

問題 2 貧困はなぜ社会問題か、あるいはなぜ社会問題ではないか、論述せよ。その際、貧困と社会問題の双方に定義を与えること。また依拠する思想や考え方、研究などを具体的に示しながら論述すること。

問題 3 以下の 4 つのことがら (人名) から 2 つを選んで、それぞれ簡潔に解説した上で、関連する諸問題について論述しなさい。その際、選択した番号を明記すること。

- 1) 留岡幸助
- 2) ソーシャルワーク
- 3) C・ブース
- 4) 救護法

平成30年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

教育社会学

以下の問題のすべてに答えなさい。

(250点満点)

問題1 大学進学率の上昇が格差社会に与える影響について考察しなさい。

問題2 文化的再生産論の意義と問題点について論述せよ。

問題3 次の語句の中から、2つを選び説明しなさい（選択したものを明記すること）。

- ①逆機能
- ②理念型
- ③対応理論
- ④隠れたカリキュラム



平成30年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

職業能力形成論

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 大学進学率の上昇が格差社会に与える影響について考察しなさい。

問題2 ①正規雇用者の整理解雇に際して求められる要件を説明したうえで、  
②景気変動に応じた労働力需給の調整に日本企業が行っている人事労務管理の工夫を述べ、③それが労働者にもたらす弊害について論じなさい。

問題3 次の事項のなかから3つを選んで説明しなさい。選択した問題番号を解答用紙に明記すること。

- ① グローバル人材
- ② 職能資格制度
- ③ 働き方改革
- ④ ジャスト・イン・タイム
- ⑤ ジェンダー・ギャップ指数

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

言語発達論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 学習と発達の関係について、複数の心理学理論を比較しながら論じなさい。

問題 2 以下の 6 つの用語から 3 つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 発達の最近接領域 (zone of proximal development)
- (2) 生態学的妥当性 (ecological validity)
- (3) 自己鏡映像認知 (mirror self-recognition)
- (4) 自己効力感 (self-efficacy)
- (5) 平均発話長 (mean length of utterance)
- (6) ことばの指標性 (indexicality)

問題 3 図 1 を参考にして、概念と言語の関係とその発達過程について論じなさい。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

乳幼児発達論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 学習と発達の関係について、複数の心理学理論を比較しながら論じなさい。

問題 2 以下の 6 つの用語から 3 つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 発達の最近接領域 (zone of proximal development)
- (2) 生態学的妥当性 (ecological validity)
- (3) 自己鏡映像認知 (mirror self-recognition)
- (4) 自己効力感 (self-efficacy)
- (5) 平均発話長 (mean length of utterance)
- (6) ことばの指標性 (indexicality)

問題 3 乳幼児期の「ごっこ遊び」を支える発達の背景と環境の関わりについて論じなさい。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

発達心理学

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 学習と発達の関係について、複数の心理学理論を比較しながら論じなさい。

問題 2 以下の 6 つの用語から 3 つを選び、それぞれ簡潔に説明しなさい。解答の際には、いずれの用語を選んだかが分かるように記述すること。

- (1) 発達の最近接領域 (zone of proximal development)
- (2) 生態学的妥当性 (ecological validity)
- (3) 自己鏡映像認知 (mirror self-recognition)
- (4) 自己効力感 (self-efficacy)
- (5) 平均発話長 (mean length of utterance)
- (6) ことばの指標性 (indexicality)

問題 3 まもなく「道徳の教科化」がはじまります。子どもの道徳性の発達について論じ、学校教育における「道徳の教科化」がもつ課題について論じなさい。

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

運動生理学

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 最大酸素摂取量について、以下の 3 つを説明しなさい。

1) 測定原理、2) 測定法 (直接法と間接法)、3) 行動体力および防衛体力との関係。

問題 2 以下の 3 つの番号の中から 2 つの番号を選択し、各番号に記載されている用語について説明しなさい。選択した語句の番号を明記すること。

- 1) フィラメント滑走と興奮収縮連関
- 2) 運動経済性と効率
- 3) 肺換気量と肺胞換気量

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

身体文化論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 アレン・グットマンによる 7 つの指標に言及しながら、前近代的なスポーツの様相とは異なる近代スポーツの特徴について述べよ。

問題 2 次に示す用語から 1 つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. オリンピズム
2. スポーツ・フォア・オール

問題 3 以下の文章を読み、「身体とコミュニケーション」と題する小論を作成し、自らの考えを述べなさい。(出典：久保健「身体とコミュニケーション」『日本の科学者』32 巻 9 号、1997 年)

平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

身体文化論

(250 点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題 1 アレン・グットマンによる 7 つの指標に言及しながら、前近代的なスポーツの様相とは異なる近代スポーツの特徴について述べよ。

問題 2 次に示す用語から 1 つを選んで簡潔に説明しなさい。選択した問題番号を明記のこと。

1. オリンピズム
2. スポーツ・フォア・オール

問題 3 以下の文章を読み、「身体とコミュニケーション」と題する小論を作成し、自らの考えを述べなさい。(出典：久保健「身体とコミュニケーション」『日本の科学者』32 巻 9 号、1997 年)

平成30年度大学院教育学院修士課程入学試験問題  
(身体運動科学)

(250点満点)

以下の問題のすべてに答えなさい。

問題1 下記の用語について説明しなさい。

- 1) カオス
- 2) アトラクター
- 3) 引き込み現象
- 4) ポアンカレ写像
- 5) 自己組織化
- 6) 相転移

問題2 人間が集団で運動するとき、競合的に振る舞う場合と協調的に振る舞う場合ではその集団の性質はどのように異なるか。例を示しながら出来るだけ具体的に説明しなさい。

問題3 伝統的な民俗芸能の現代における意義について述べなさい。



平成 30 年度大学院教育学院修士課程入学試験問題

多元文化教育論

(250 点満点)

問題 1, 問題 2 に答えなさい。なお, 問題ごとに別の解答用紙を用いること。

問題 1 次の A, B から一つ選んで答えなさい。

A. 「グローバル時代において、他文化理解があまりにも重要となり、文系の学部学生・大学院学生の海外留学を卒業条件として導入すべきである。」この意見について、賛成・反対の両論を書きなさい。

B. 「歴史認識は、ある国の国内議論を経て現れてくることである。人々は自国の歴史認識論争に参加していいが、他国の歴史認識論争に介入すべきではない。」この意見について、賛成・反対の両論を書きなさい。

問題 2

A. あなたは国 X の人々の国 Y に対するイメージに関する研究をします。指導教員と一緒に相談した結果、国 X の人々に対してアンケート調査を行うことを決めました。アンケートデザインと研究倫理の立場から見て、大事な注意点を 2 点ずつあげて説明しなさい。

B. 移民にとって、母語は必ず守らなくてはならないものかどうか、賛成・反対の両論を書きなさい。